UNITE FOR GOOD
Rotary MATSUMOTO EAST
２０２５－２０２６年度会報
会長／村山智計　幹事／吉池裕一
2025. 9. 5. No. 7 通算№1882

事務所／松本市深志 1-1-21　中田歯科ビル 5F
TEL:0263-36-7737　FAX:0263-36-6009
例会場/ホテルブエナビスタ　例会日/金曜日 12:30

9 月 19 日(金)の予定
休会（クラブ定款）
9 月 26 日(金)の予定
ガバナー公式訪問

委員長/福田雅春
副委員長/北澤清隆　委員/土屋久
籾山志基　百瀬敏男　太田隆治

☆★☆★☆★

身という事を知りました。

ＲＩ指定記事の横組３ページ、ＲＩ会長メッセージの中で教育を通じた平和のためには、持続可能なインクルーシブで公平な教育が必要であり、それを実践していくには単年度でなく、これから先の活動の中にしっかり根付かせ成長させていく事が大切とあり、ロータリー活動の本質がメッセージに込められていると思いました。

次に５ページから１１ページまではフランチェスコ・アレッツオＲＩ会長紹介記事になります。矯正歯科の開業医でエキストラバージンオリーブオイルを生産する農業企業も所有されているそうです。　ＲＩ会長になられるような方でも、初めはクラブ会長になることを消極的であったとあり少し驚きました。記事の中のロータリーは映画館のようにただ座って誰かが何かをするのを「見る」ために「行く」場所でなくロータリーは自分が何かを「する」ために「関わる」場所、参加しなければならないのですというコメントを読み、自分も何が出来、これからどう関わっていけるかを自ら考えて行動していけたらと思いました。

12ページには、ロータリーの友月間として「友」を読まず損をしていませんか？の問いに対し、今回初めてしっかり友を読みました。読むことでまだロータリークラブの事をよく知らない自分でもロータリークラブの成り立ち、現状、各地区での活動を知る事が出来、今後も「友」を読む動機が出来ました。

気になる記事として２０ページからのオーストラリア、バリナーオンーリッチモンド・ロータリークラブの活動、ＤＶ撲滅に向けた草の根運動の記事です。DVの起こる背景には様々な要因があり、加害者のタイプも一定ではなく、年齢、学歴、職種、年収に関係がないと言われています。このような事が少しでもこの世から減る事を願う中で、先日、神戸市で女性の方がマンションエレベーターの中で殺されたという事件がありました。ニュースの中で被害者の方の職業が保険会社勤務とありどこの保険会社の方かと思っていたら、当社がメインで扱っている保険会社の社員さんだったと聞きました。別に面識がある訳でもないですが、少しでも関係性があると分かっただけで、ニュースを聞いた時よりも悲しく、憤りを覚えました。このような事件が無くなっていくためにも、広い意味でRI会長メッセージ「教育を通じた平和」という教育の力が大切のように思いました。

縦組み2ページからのスピーチ「生成AIの全貌」の記事を読んだ後、生成AIの現状をあまり知らなかった自分としては驚きと少し恐怖を覚えました。既に、画像や文章、音楽など様々な分野で生成AIが台頭し、人が作った物と区別が出来ないところまで近づいている現状を知り、最近ニュースで読書感想文を生成AIを活用して作成する。生成AIを活用して作られた読書感想文かどうかを見破る方法としてまた生成AIを使うというニュースがあった中で、ここ数年で物凄く世の中が変わって来ている事を改めて感じました。生成AIの進化により日々の生活の中で便利さを教授出来ている点もあるので、進化を否定する訳でもないのですが、これからのＡＩの普及と予測される社会的変化の中で、ＡＩの発展を止めるという事は難しく、ますます進化していくことが人々の生活水準や満足度の向上のために進化していけば良いですが、人々がＡＩに支配されるような生活にならないように、急速な社会の変化にしっかりと対応していかなければと気づかされる内容でした。

最後に11ページのにっぽんふうど　五十三次つまみ食いの中で、羊羹のルーツやういろうのルーツについて書かれておりました。自分は小豆が原料となっている羊羹の方が好きなのでこちらの記事は、豆知識として面白い内容だと思いました。

以上、9月号の雑誌評論になります。ありがとうございました。

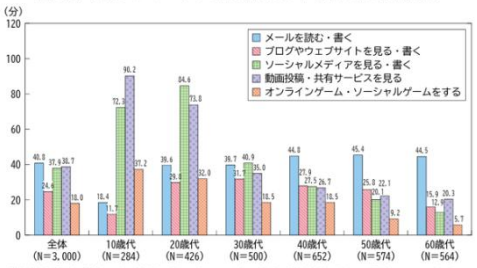
【基本的教育と識字率向上月間特集】小林あや会員

世界の識字率の推移は、1950 年:56%から 2000 年には 81%、2020 年:87%と年々上昇しており、さらに日本では 99%と、識字の意味も従来の「文字が読める」から、現代に求められる「情報を理解し活用する力」へ変化しています。

デジタル社会となった現代、日本人のインターネット利用時間は平均 4 時間を超え、10～20 代 SNS 利用率:90%以上である一方、2023 年の文化庁調査では若者の読書時間ゼロは 47.1%となっています。

短文化・情報の断片化、そしてフェイク情報が氾濫する現代、若い世代は読解力に課題があることがわかっています。「ヤバい」などの略語が多用され、深い読解力が伴わない即自的コミュニケーションが主流になっているからだと考えられ、文字は読めても、深く考える力が弱まりつつあるという危機を認識する必要があると思います。

【図表２】平日のインターネット利用目的別の平均利用時間（年齢層別）



（備考）総務省「令和２年度情報通信メディアの利用時間と情報行動に関する調査」により作成。

世界の識字率は改善されるも 7 億人が未識字であり、日本は識字率は高いけれど、文脈リテラシーに課題があり、読書支援の他、高齢者も含めたデジタルリテラシー講座・多文化共生支援などを広げていく必要があります。

ロータリーはその理念をふまえ、従来の国際的な学校建設や教育支援に加えて、時代に合った新しい識字教育を推進すべきだと考えています。

【点鐘 13：30】村山会長

今週の笑顔さん